

もりふれ倶楽部通信 NO.53

「林業家」栗栖誠氏について

NPO 法人もりふれ倶楽部 理事・事務局長 野田真幹



訪ねてきた中学生に森を語る栗栖氏

平成27年9月8日、栗栖誠氏が亡くなりました。島根県中の林業関係者が突然のその訃報に驚き、甚大なショックを受けました。私もその1人でした。その1か月前にお会いした時に、猛暑の中にもかかわらず、47haの山林を一周できる作業路や、山林のコーナーごとに整備された広場等は、きれいに草が刈られていました。その日、私がおその年の10月に企画していた視察ツアーについての協議をさせていただきました。打ち合わせ後の別れ際に、「私は、これから10年かけて山を（人の手入れがいたる状態から）独立させようと思っている。」と奥の深い言葉を語られました。自分に生活の糧を与えてくれた山に感謝しながら、10年かけて恩返しをして行こうと、とても意欲的でした。

栗栖氏は昭和19年生まれ、島根県浜田市在住、47haを所有する林家でした。

一般に山林経営のイメージというと、木材生産・シイタケ生産といったイメージが浮かぶのではないのでしょうか。しかし、栗栖氏の山林経営の実践は、これがもっと多彩に展開できうるものであることを教えてくれます。工夫をこらした木材生産とさまざまな特産林産物の商品化と販売、これら栗栖氏の工夫をこらした経営が評価され、平成11年度の全国林業経営推奨行事では林野庁長官賞を受賞しています。

栗栖氏が住む浜田市は日本海沿岸屈指の漁業都市として古くから知られていて、面積の約7割が森林を占める町でもあります。栗栖氏は、ここで47haの林業経営（スギ、ヒノキ、マツなどの針葉樹林は26ha）を行っています。齢級構成を見ると、そのほとんどが50年生前後です。

林内には、栗栖さん自身がミニバックホーを使い、自力で開設した作業道4000m（85m/h）が張り巡らされ、この作業道を活用して間伐などの作業をおこなっていました。

栗栖氏の間伐のやり方は、まず、最新の木材市況から3m材、4m材、それぞれの径級別単価表（1本あたり）をつくって山に持って行くことから始まります。この単価表を見ながら、1日当たりの自分の労働報酬がいくらになるかを常に意識しながら作業の段取りを考えていました。

集材作業には、ミニバックホーを活用しています。ミニバックホーのアームの先端にワイヤー

を止め、集材木にワイヤーの先端を掛け、アームを持ち上げることで5mずつ引き出していきます。ただ、ウインチがついていないため、その都度、ミニバックホーから乗り降りして、ワイヤーの長さを調節する必要があります。しかし、新たに付けるとなると200万円ぐらいかかり、間伐作業は年に3カ月ぐらいのものなので、そこまで経費を掛ける必要は無しと判断されていました。

「人件費がいちばん高い」と栗栖氏は、最後まで一人で作業を行っていました。そのため、作業の省力化を図るべくさまざまな創意工夫を経営に取り入れていました。

地拵えでは、伐採の際に主林木の枝や雑木を等高線に垂直に（通常の地拵えは並行になる）るように整理していました。このことで搬出が容易になりました。

栗栖さんはこれまで優良大径材生産を目標に、枝打ちと間伐を繰り返してきましたが、一部の皆伐跡地には大径材生産の最終生産目標本数であるha当り700本だけを植えた場所もありました。間伐の省力化をねらったことです。少なく植える分、きちっとした枝打ちができます。1本当たりの価値を高めることで、全体の価値も高まるとの考えでした。

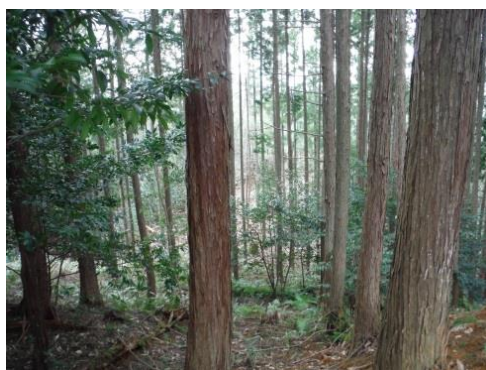
栗栖氏の基本的な森づくりの考え方は、伐採した跡地の萌芽（切り株から出る芽）の育成、皆伐しないで親木を残し、その種から出た苗の育成、枝物・食用木の利用などの森林多目的空間利用、森林内に絶えることなく2代目、3代目の後継木を育成しておくこと、そして、これらを自然の循環を生かし、継続することでした。

栗栖氏は30年ほど前から、サカキ・シキミ・ヤマモミジなどの広葉樹枝物生産を行っていました。自然に種が落ちて発生したものを育て、上層木の受光伐や枝打ち、下刈りなどの環境整備を行ってきました。時には、造林とセットでの取り組みもおこなっています。前述の皆伐跡地にha当り700本しか植えないというのも、スギ、ヒノキの苗木の間にサカキ・シキミなどを残しているからでした。

作業道から林内に目を向けるとスギやヒノキの間から、サカキ、シキミなどの常緑広葉樹やヤマモミジ、ヤマナシ、コシアブラといった落葉広葉樹の枝葉が見えます。作業道沿いには、ヨシノザクラも植えられています。これらも、様々なニーズに対応させて、有効に活用されてきました。

また、作業道に近いところは光が入りやすいから苗木を密に植え、遠いところは疎に植えるなど、日陰の度合いにより、植栽間隔に変化ももたせています。

下刈りについても、標高の高いところは、夏場の日照りのころは乾燥しやすくなるため、下刈りを控えるなど、現場に応じた作業により自然環境に逆らわないように心がけていました。また、下刈りの際は、棒などの印をつけて、必要な広葉樹を残しています。これを使うため、苗木を購入する必要がありません。自分の山に育った苗なので、他地域で育てられたものより、土地になじむようです。これらのこだわりから、下刈りは、すべて自分自身で取り組みました。



ヒノキ林の中にはサカキがたくさん



企業への出前講座で現物を使って説明

採取したサカキなどは市況を把握しながら、浜田市内の生花店や固定客などに販売していました。山に剪定ばさみと背負いかごを持って行って、必要な時に必要な分だけ採ってきます。破れ葉はその場で摘んで形を整えます。栗栖氏のサカキは、神社で使われる心物が1本千500円から2千円、ヒモロギが1本1千円から1千500円で買われてゆきました。品質の良さと出荷体制を築いたことにより、いまでも安定した収入源になっていました。

サカキなど枝物生産のほかにも、クリスマスツリー用に、モミやドイツトウヒを育て、クリスマスシーズンに商店街や教会にリースで貸し出していました。また、所有林の大イチョウから銀杏を採取して、300g詰めで毎年300袋ほど販売したり、自身の山の素材を組み合わせを使って、正月の門松の作成から撤去までを請け負ったりと、自身の生活範囲と密着させながら、さまざまな林産物商品の開発と市場の開拓をおこなってきました。

栗栖氏は、昭和49年から59年まで島根県林業研究グループ連絡協議会の初代会長を務め、昭和51年から3年間を全国林業研究グループ連絡協議会理事、昭和61年から平成7年まで浜田市森林組合長を務めるなど、個人の林業経営だけではなく、島根県と全国の橋渡しもしながら県内の林業界をリードしてもきました。

サカキなど枝物生産についても、周辺市町村の林家にも影響を与えています。当時会長を務めた浜田地方林業研究グループ連絡協議会では、平成9年から、広島市中央卸売市場への視察研修、市場関係者との意見交換会、市場への試験出荷などを行っています。市場に適合した樹種ごとの出荷規格マニュアルを作成するとともに、平成11年には挿し木で増やしたツルウメモドキを会員に配布するなど、供給体制づくりにも取り組んでいました。

栗栖氏の山林で、生産されてきたものは、以下の通り本当にたくさんありました。

枝物としては、サカキ、シキミ、ダイオウマツ、ナンテン、ウメモドキ、ロウバイ、コウヨウザン、コウヤマキ、シバグリ、カエデ類、ドイツトウヒ、オオウラジロノキ、バショウなどがあり、種子飾りやリースの素材となるものも生産していました。

食用木や山菜では、ワラビ、ゼンマイ、フキ類、ヤマウド、ミョウガ、コシアブラ、タラノキ、ヤマイモ、ヤマイチゴ、キイチゴ、ユキノシタ、ヨモギ、サワグルミ、シバグリ、イチョウ、カヤ、トチノキなどがあります。ヤマモモ、オオウラジロの実など、焼酎につけて楽しむものもありました。また、トチノキの実は、とち餅に使われ、花はミツバチを集めるので、蜜の収穫もできたそうです。

これらを求めて、注文依頼による直接販売が大変多かったようです。製品の種類の豊富さと生産場所が明確なことに加えて、自身の築き上げてきた人脈が生きて、林産物がどんどん売れてゆく仕組みが出来上がったようでした。

栗栖氏は、この成功に関して、昔、漁民と農民が魚と米を交換したような物々交換の精神が今も生きているとも語っていました。漁民に関連して、栗栖氏は、自身の山を森林環境教育の場としても提供しています。平成12年度から18年度にかけて、毎年約100名の漁業関係者・海洋少年団・ボーイスカウトが「豊かな森が豊かな川、海を育てる」として、計2.5ha、5千500本の落葉樹植樹を通して交流しました。この森は「漁民の森」と名付けられ、近年でも、学生が栗栖氏の山林を訪れるとまず、最初に集合し栗栖氏の話聞く場所となっていました。

そのほかに、国際森林年・県国体記念の外、地元の高校が甲子園出場を記念してなど、記念植樹を含んだ「和の森」5ha、多種樹木林の中に小川を整備し、休息室・花見小屋・ゲートボール

場も設けた「せせらぎの森」4 ha などがあり、多くの人が森と親しめる場となっていました。

このような取組も栗栖氏の豊かな生産物のある森の紹介となり、商品が動く一助となっていると思われますし、見方を変えれば、信頼関係で結ばれた物々交換的な「市場」が広がっていているとも考えられます。この広がり方は、グローバル化された市場原理の中では、あまり評価されないものかもしれませんが、人が中山間地域で幸福に暮してゆくレベルにおいては、ある意味十分なものではないでしょうか。栗栖氏は、最後まで、インターネットも携帯電話も使いませんでした。しかし、この信頼関係で結ばれた「市場」は機能し続けていたのです。亡くなられる前の冬にお訪ねした時には、「今年は、京都からウラジロを1月くらい継続的に送ってくれと言われてね、大変だった。」とにこやかに言っておられました。



ウラジロさえ金になる



中学生への最期の講座の様子

「昔は森に生かされてきたが、今は森から私が使われている。」と栗栖氏。森が「あれをしてくれ。」「これをしてくれ。」と語りかけてくると5年くらい前から口癖のように語っておられました。

晩年の栗栖氏は、毎年、しまね森づくりコミッションのイベントで、地元の中学生在が栗栖氏の山林を訪れるのを心待ちにされておられました。その時期が近づくと作業路や広場の目立つ木々には、マジックで樹名が書き込まれ、子ども達に森のことを説明する木の板の紙芝居のようなものが作られます。そして、当日は、最近の若者の流行の話題等を一生懸命取り入れようとしながら、山づくりの話をされました。その姿は、失礼な表現ですが、微笑ましく、そして、感動的でした。

栗栖氏が亡くなられて半年以上たった今年の5月、例年のように中学生が栗栖氏の山林を訪れました。私が代わりに山林を案内して回りましたが、樹木には、栗栖氏が昨年マジックで書かれた樹名がうっすらと残っており、栗栖氏があたたかく迎えてくださったような気持ちになりました。

私たち残された者としては、栗栖氏の生き様や残された山林から、まだまだ、学ばなくてはならないことがたくさんあります。栗栖氏の山林経営の真髓を学び確認すると共に、今後、自伐林家を志す若者に語り継ぎ、山林も志ある方々との連携の中で、何とか保存して行きたいものです。

11月25～26日栗栖山林復興ボランティア

刈り払い機を持った10人の侍と仲間募集中！

平成29年度 もりふれ倶楽部の歩み

6月1日（木）松江市立出雲郷幼稚園・保育園対応

松江市立出雲郷幼稚園・保育園の先生たち18名に対して、園児のお昼寝の時間に2交代で森林に関するレクチャーを行いました。内容は、安全に子どもたちと遊べるためのリスク管理（危険動植物）の話と、うぐいす山の植生について実地研修でした。 指導 野々村俊成、池田友紀



6月3日（土）第3回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第3回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志



6月3日（土）、4日（日）益田市研修

益田市主催の「目立てから始めるチェーンソー研修」Aコース 目立てと安全なチェーンソーワーク、Bコース 丸太を使った伐木造材の基礎研修の企画・運営を行いました。

講師 遠藤正資他 コーディネーター 野田真幹 スタッフ 吉川奈月

6月6日（火）しまね森づくり Kommission 出前講座17（桂平小学校）

益田市立桂平小学校において、全校児童22名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 野田真幹、高濱実樹恵



6月7日（水）しまね森づくり Kommission 出前講座18（都茂小学校）

益田市立都茂小学校において、1, 2年生11名に対して、「森林保全の大切さ」の話と「樹木観察」の指導、3, 4年生17名に「森林保全の大切さ」の話と「和紙づくり」の指導、5, 6年生15名に「森林保全の大切さ」の話と「飾り炭づくり」の指導を行いました。

指導 野田真幹、浅浦徹、高濱実樹恵

6月8日（木）みーもサマースクール（玉湯小学校）

島根県みーもサマースクールの一環として、松江市立玉湯小学校の児童9名と先生3名に対して、森林散策・飾り炭づくり・たき火クッキーづくり・ネイチャークラブ体験等の指導をおこないました。

指導 中村正志、森下美津子、戸谷広子、妹尾明美、福岡茂明、藤原人美



6月10日（土）～11日（日）島根県森林インストラクター養成講座

（一社）島根県森林協会主催の「島根県森林インストラクター養成講座」の企画運営をサポートさせていただきました。

講師 佐藤仁志、野田真幹、中村正志、池田友紀

6月13日（火）しまね森づくり Kommission 出前講座19（井尻小学校）

安来市立井尻小学校において、全校児童32名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子



6月14日（水）浜田市教員対象研修

浜田教育事務所管内の生活部会の先生達22名に対して、事務局長の野田真幹が職員の藤原人美とともに「森林保全の大切さ」の講義と「和紙作り体験」の指導を行いました。指導 野田真幹、藤原人美

6月18日（日）第2回里山自然塾

第2回里山自然塾「野草茶と笹巻き作り」を参加者32名で実施させていただきました。

講師 野々村俊成、中村正志、池田友紀

スタッフ 内田百合子、宮崎徳子



6月18日（日）飯南町研修

飯南町主催「安全技術作業講習会」目立てからはじまるチェーンソーワーク基礎実習、丸太を使った大切なチェーンソーワーク実習の2つの研修を同時に実施しました。

講師 遠藤正資他 コーディネイト 野田真幹 スタッフ 服部恵子

6月19日（月）み〜もスクール第1回 西小学校

雲南市立西小学校4年生30名に対して、第1回み〜もスクールとして、森林作業体験「学校林で間伐、枝打ち体験」を実施しました。

指導 野々村俊成、響繁則、中村正志、野田真幹、服部恵子、藤原人美



6月21日（水）大田市立高山小学校対応

大田市立高山小学校において、全校児童38名とその保護者を対象に、2班に分かれて自然観察会とネイチャーゲーム指導を行いました。

指導 野々村俊成、野田真幹、池田友紀、藤原人美

6月24日（土）しまね WOOD フェア対応

出雲市の出雲ドームを会場に開催された（一社）島根県木材協会主催の「しまね WOOD フェア2017」において、木や森に興味を持ってもらえるように木の実を使った工作のコーナーを出展しました。

指導 内田百合子、妹尾明美、伊藤志美恵、大峠百代、藤原人美



6月25日（日）セーブジャパン対応（一般参加）

飯南町来島の山林において、参加者24名にたいして、「ツキノワグマと同じ時代に生きている幸せ」として、ツキノワグマと人が同じエリアに共存することによりおこる問題を考え、ツキノワグマとの共存の未来を考えてみ

ました。簡単な作業をしてからふるさと森林公園に帰り、用意されていた熾火を使ったおいしいクッキング鳥の塩麴漬けとジャガイモとカレーをいただきました。午後からは、ツキノワグマの話聞き、木の実工作をして楽しみました。

指導 野々村俊成、中村正志、野田真幹、池田友紀、藤原人美

6月26日(月) み〜もスクール第1回 布部小学校

安来市立布部小学校において、第1回み〜もスクールを開講しました。1〜2年生7名に対して、島根県森林インストラクターの中村正志氏等により、学校林にて樹木学習を行い、押し葉を使った「葉っぱアート」の指導を行いました。 指導 中村正志、野田あや子、藤原人美



6月28日(水) しまね森づくり Kommission 出前講座20 (口羽小学校)

邑南町立口羽小学校全校児童28名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「和紙作り」の指導を行いました。

指導 藤原人美、宮崎徳子

6月29日(木) しまね森づくり Kommission 出前講座21 (西ノ島小学校)

西ノ島町立西ノ島小学校において、5、6年生25名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「飾り炭作り」、「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹他



6月30日(金) しまね森づくり Kommission 出前講座22 (桜江小学校)

江津市立桜江小学校4年生22名に対して「森の大切さの講義」、「樹木観察」の指導を行いました。

指導 野田真幹、池田友紀



7月1日(土) 森林ボランティア (楽山公園)

松江市楽山公園において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、松江環境市民会議のメンバーと竹の整備を行いました。

メンバー 野々村俊成、中村正志、穂井田頼、福岡茂明、野田真幹



7月2日(日) 楽山公園再生イベント

松江市公園緑地課の委託事業の中で、市民緑化活動普及啓発事業「楽山再生」市民ボランティアイベント「楽山公園作業ボランティアとドラム缶ピザでお茶会」を実施しました。参加者午前19名、午後9名は、除伐された小中径木の片付けをした後、ドラム缶で焼いたピザとクロモジ茶をいただきました。

指導 野田真幹、中村正志、別木健一、福岡茂明、藤原人美

7月3日(月) み〜もスクール第1回 (高山小学校)

大田市立高山小学校において、第1回み〜もスクールを開講しました。今回の対象3、4年生15名で、島根県森林インストラクターの中村正志氏・池田友紀・藤原人美氏の指導で、高山小学校の学校林である「緑の道」でネイチャーゲームと樹木学習を行いました。 指導 中村正志、池田友紀、藤原人美





7月7日（金）みーもスクール第1回 母衣小学校

松江市立母衣小学校5年生79名に対して、第1回みーもスクールとして、「森林保全の大切さ」の講義と間伐材を使った「フクロウのキーホルダーづくり」の指導を行いました。3クラスが、2クラスに分かれて2種類のコースを交代で受講しました。 指導 野田真幹、中村正志、竹田正彦、藤原人美

7月8日（土）第1回里山食べごと塾

奥出雲町阿井地区にて、里山食べごと塾「斐伊川上流から宍道湖・中海まで！」として、第1回 奥出雲編を行いました。鶏肉の塩麴漬け、ジャガイモのホイル焼き、パスタ、サラダ、ドレッシングづくりをして、最後にデザートにブルーベリームースをみんなで楽しく調理して味わいました。

講師 橋本守庸 指導 野田真幹 スタッフ 土山幸延、藤原人美



7月9日（日）第3回里山自然塾

第3回里山自然塾「サクラの枝でミニチェアーを作ろう」を開催しました。参加者 21名は、島根県森林インストラクターの中村正志氏の指導で、サクラの枝を使ってミニチェアーを作りました。 講師 中村正志、池田友紀

ボランティア 中尾篤志、岡田邦博、福岡茂明 スタッフ 藤原人美

7月10日（月）み〜もスクール第2回 西小学校

雲南市立西小学校4年生30名に対して、第2回みーもスクールとして、「ヒノキの皮から和紙づくり体験」を実施しました。

指導 野田真幹、福岡茂明、藤原人美



7月15日（土）森林ボランティア（布部小学校）

安来市立布部小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、竹林整備を行いました。 メンバー 野々村俊成、野田真幹、中村正志、三嶋節夫

7月17日（月・祝）森林ボランティア（江津東小学校）

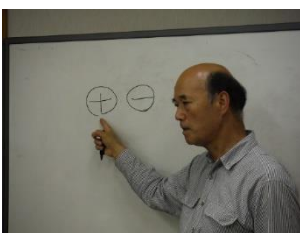
江津市立江津東小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、下刈りを行いました。

メンバー 野々村俊成、穂井田頼、中村正志、穂井田頼、豊田真樹子



7月22日（土）第4回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第4回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志



7月23日（日）飯南町研修

飯南町主催の「作業路づくり研修」の企画・運営を行いました。講師には、日本を代表する自伐林家で作業路づくりの名人橋本光治氏を迎えました。

コーディネイト 野田真幹 講師 橋本光治 スタッフ 服部恵子

7月26日(水)～29日(土) 江津市研修

江津市主催の「作業路研修」モデル作業路づくりの企画・運営をおこないました。講師には、日本を代表する自伐林家で作業路づくりの名人橋本光治氏を迎えました。

コーディネイト 野田真幹 講師 橋本光治、安部久



7月28日(金)松江市松原保育園対応

ふるさと森林公園学習展示館に来館された、松江市松原保育園年長9人、引率者2人に対して、木切れ工作、森の話聞きながら自然散策の指導を行いました。

指導 福岡茂明、宮崎徳子



7月30日(日) 飯南町研修

飯南町主催「安全技術作業講習会」目立てからはじまるチェーンソーワーク基礎実習、丸太を使ったチェーンソーワーク実習、立木を伐木造材する実習の3つの研修を同時に実施しました。

コーディネイト 野田真幹 講師 響繁則、遠藤正資他 スタッフ 服部恵子



8月5日(土) 森林ボランティア(出雲商業高校)

島根県立出雲商業高校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、下草刈りを行いました。メンバー 野々村俊成、中村正志

8月6日(日) 第4回里山自然塾

第4回里山自然塾「大人も子どもも里山で夏休み！竹筒ごはんカレーと虫やどうぶつのワンダーランドづくり」を開催しました。参加者35名は、島根県森林インストラクターの中村正志氏指導で竹を使って虫づくり、野々村俊成氏指導で木の実を使った動物づくりを行いました。

講師 野田真幹、野々村俊成、中村正志、池田友紀 スタッフ 藤原人美、宮崎徳子



8月6日(日) 目田森林公園対応

目田森林公園主催、親子で作る夏休み工作教室において、木の実工作、竹を使った工作の指導を行いました。

指導 岡田邦博、遠藤和則、遠藤訓子



8月8日(火)～9日(水) 島根県緑の少年団活動発表大会及び交流集会对応

島根県緑の少年団連盟主催の「島根県緑の少年団活動発表会」において、参加者約50名に対して、活動発表やキャンプファイヤー運営のサポートの他、間伐材のフクロウのキーホルダー作りや、ネイチャーゲームの指導を行いました。

応援スタッフ 野田真幹、野々村俊成、竹田正彦、福岡茂明、内田百合子
池田友紀、藤原人美

8月17日(木) 島根県立松江農林高等学校対応

島根県立農林高等学校総合学科地域クリエイト系列2年生19名に対して、飯南町来島公民館で「森の話」をした後、下来島林地でネイチャーゲーム体験、飯南町松江農林演習林で、伐倒見学、造材の見学と枝払い、PCウインチによる集材、の指導を行いました。指導 野田真幹、野々村俊成、響繁則、安部久、藤原人美



8月19日（土）第5回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第5回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志



8月20日（日）県民の森ふれあい講座

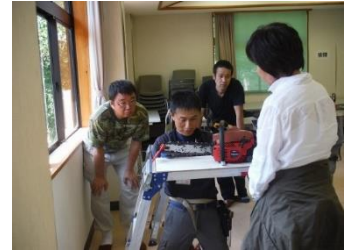
県民の森 第2回 里山の憩い講座 夏の工作「間伐材の丸太で動物を作る！」
実施しました。

指導 中村正志、岡田邦博 別木健一、池田友紀

8月27日（日）飯南町研修

飯南町主催「安全技術作業講習会」目立てからはじまるチェーンソーワーク基礎
実習、丸太を使ったチェーンソーワーク実習、立木を伐木造材する実習の3つの研
修を同時に実施しました。

コーディネイト 野田真幹 講師 遠藤正資他 スタッフ 服部恵子



9月1日（金）み〜もサマースクール（法吉小学校）

島根県み〜もサマースクールの一環として、松江市立法吉小学校の児童9名と先
生3名に対して、森林散策・飾り炭づくり・たき火クッキーづくり・ネイチャーク
ラフト体験等の指導をおこないました。

指導 中村正志、森下美津子、戸谷広子、妹尾明美、福岡茂明、藤原人美

9月2日（日）森林ボランティア（楽山公園）

松江市楽山公園において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、松江環境
市民会議のメンバーと竹の伐採と片付けを行いました。

メンバー 野田真幹、野々村俊成、中村正志、福岡茂明、長野和秀、橋本守庸
別木健一、安達宏史、藤原人美



9月3日（日）第5回里山自然塾

第5回里山自然塾「竹で焼く米粉ケーキと竹細工」を開催しました。参加者
23名は、2班に分かれ、島根県森林インストラクターの中村正志氏指導で竹を
使ってバターナイフ、杓文字等作り、野々村俊成氏指導でプロペラが回る竹
おもちゃ作りの指導を行いました。午後からは米粉ケーキを作りお茶会を楽し
みました。 講師 中村正志、野々村俊成、池田友紀

スタッフ 藤原人美、宮崎徳子

9月4日（月）み〜もスクール第3回 西小学校

雲南市立西小学校4年生30名に対して、第3回み〜もスクールとして
「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、森下美津子、戸谷広子、服部恵子、藤原人美、
北井千鶴子（島根県）



9月5日（火）み〜もサマースクール（にじの会）

島根県み〜もサマースクールの一環として、にじの会（八雲小学校、竹矢小学
校、大庭小学校）児童20名と先生10名に対して、森林散策・飾り炭づくりた

き火クッキーづくり・ネイチャークラフト体験等の指導をおこないました。

指導 中村正志、野々村俊成、森下美津子、戸谷広子、福岡茂明、妹尾明美
大峠百代、藤原人美

9月9日(土) 森林ボランティア(布部小学校)

安来市立布部小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として
草刈りと枯損木の伐倒作業を行いました。

メンバー 野田真幹、野々村俊成、中村正志、別木健一、橋本守庸、田口孝道
安達宏史



9月10日(日) 森林ボランティア(出雲郷保育園)

松江市立出雲郷保育園うぐいす山において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、
下刈り作業を行いました。

メンバー 野田真幹、中村正志、田口孝道、三嶋節夫

もりふれ倶楽部今後の予定2017 10月~12月

※ イベント参加には、すべて事前申し込みが必要です。

10月7日(土) 9時30分~11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。
森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中:参加費100円 持ち物~カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。

10月8日(日) 10時~15時 第6回 里山自然塾「秋の里山でキノコ狩り！」

☆参加者募集中:参加費500円 場所:ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物~飲み物・昼食 定員25名(申し込み順)

10月9日(月・祝) 10時~15時

森林ボランティア1日限りの作業班:来島小学校学校林 下刈りとホダ木用広葉樹伐倒

☆参加者募集中:1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物~軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・チェーンソー・刈り払い機・レーキ・フォーク・鋸等

集合場所:飯南町立来島小学校駐車場

前日正午まで申し込みをお受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。要事前申し込み。

10月15日(日) 10時~15時 体験イベント「美しい森林づくり~赤屋小学校学校林」

直接現地の方:9時50分 赤屋公民館集合(安来市立赤屋小学校近く)

送迎バス利用者(無料):8時15分 ふるさと森林公園学習展示館前
9時 県庁郵便局前

☆参加者募集中:参加費1,000円 昼食代込

- 内容：1. 学校林の枝打ち作業（安全帯を使用して5.5mまで）
※高所が苦手な方は枝の片づけをお願いします。
2. アウトドアクッキング（雨天時は室内）
3. 専門家のわかりやすい森づくりのお話と高校生ボランティアの紹介
定員 25名 但し送迎バスの利用は20名まで

11月4日（土）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：下刈りと危険確認
9時50分 松江市立出雲郷保育園うぐいす山集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

11月5日（日）10時～15時 第7回 里山自然塾「苔玉・ミニ門松とドラム缶窯で焼くピザ作り テーマ～雑木林と人との関わり」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～飲み物・昼食 定員20名（申し込み順）

11月11日（土）第2回里山食べごと塾「三沢の館で合わせ柿づくり」

☆参加者募集中：参加費1,000円（昼食代込み）昼食は三沢の館のおもてなし料理
集合場所と時間（集合場所からバスにお乗りください）
8時 県庁郵便局前 8時45分 ふるさと森林公園
9時40分 道の駅「おろちの里」

11月11日（土）9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会（自然を撮ろう！カメラを持って集まろう！）。植物を学びたい方も是非。
森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。

11月18日（土）10時～15時

森林ボランティア1日限りの作業班：来島小学校学校林 響式シイタケ原木裸地伏せ

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・チェーンソー・鋸等
集合場所：飯南町立来島小学校駐車場
前日正午まで申し込をお受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。要事前申し込み。

11月19日（日）10時～15時 第3回飯南町県民の森「里山の憩い講座」

「紅葉の森散策、簡易くん製とドラム缶窯ピザを楽しむ、飾り炭づくり」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：県民の森木工室

持ち物～飲み物・昼食 定員20名（申し込み順）

11月23日（木・祝）第3回里山食べ事塾「給食の素材を地元農家で支える取り組み旧木次町」

☆参加者募集中：参加費1,000円（昼食代込み）昼食は地元野菜を調理・野菜畑の見学と収穫体験

集合場所と時間（集合場所からバスにお乗りください）

8時 県庁郵便局前 8時45分 ふるさと森林公園

11月25日（土）13時～26日（日）12時 特別森林ボランティア

「栗栖山林復興ボランティア刈り払い機を持った10人の侍と仲間」

内容：栗栖山林の歩道や広場・重要な場所の草刈り

定員：「侍」コース10名 「仲間」コース10名

25日13時 道の駅「夕陽パーク浜田」下段駐車場集合

14時 セレモニー・作業 16時30分まで

19時 懇親会 会場（未定・浜田駅周辺）会費5,000円程度

26日 9時 作業・セレモニー 12時解散

募集1「侍」コース：次に条件を満たす方 参加費 ホテル東光宿泊代（朝食つき6,000円程度）

1. 刈り払い機を使用でき、当日持参できる方

2. 全日程と懇親会に参加できる方

3. 栗栖山林の再生を願う方

※「侍」への支援・ホテル東光の宿泊代約半額（3,000円）支援

・チップソーの刈刃支給

・混合燃料支給

・機械借料4,000円支給

募集2「仲間」コース：特に条件はありませんが事前申し込みの上2時間以上から参加OKです。

刈り払い機の無い方は集草をお願いします。

参加費 無料

※「仲間」への支援・刈り払い機持参の方には、刈り刃と混合燃料を支給します。

12月3日（日）10時～15時 第8回 里山自然塾「森のリースとクリスマス里山クッキング」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物～飲み物・昼食（主食になるものは持参）定員20名（申し込み順）

恒例の新年会員大研修会（新年会）は1月7～8日です。日程調整を！

もりふれ倶楽部会報

NO. 53

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

メール morifure@coffee.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.morifure.jp/>